

完了後の評価個表

整理番号 11-1

事業名	森林居住環境整備事業	都道府県	山梨県
ふりがな 地域(地区)名	かいせいぶ 甲斐西部	事業実施主体	山梨県
関係市町村	南アルプス市(旧白根町、旧芦安村、旧櫛形町)、富士川町(旧増穂町、旧鵜沢町)、早川町	管理主体	山梨県、南アルプス市(旧白根町、旧芦安村、旧櫛形町)、富士川町(旧増穂町、旧鵜沢町)、早川町
事業実施期間	H14~H19 (6年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 当地区の面積は71,126haであり、県土面積の約20%を占める県西部一帯の地域であり、南アルプスの前衛櫛形山から、南アルプスの稜線を境に静岡県と接する広大な地域である。標高は、250m~3,000mと大きな標高差があり、一般的には典型的な内陸性気候である。なお、当地域は、近年特に森林レクリエーションの場として首都圏等から注目されている地域でもある。</p> <p>② 森林の状況 当地区の森林面積は63,700haで総面積の約90%を占めている。内訳は民有林面積25,424ha、県有林面積38,276ha、であり、総蓄積は、9,589,017m³で、針葉樹6,193,941m³、広葉樹3,395,076m³である。保安林面積は43,768haで、当地区森林面積の69%となっている。なお、人工林面積は19,197haであり、人工林率は30%となっている。樹種別内訳はカラマツが全体の45%、ヒノキが全体の30%を占めている。人工林の年齢構成は1~8年齢が全体の66%を占めている状況である。</p> <p>③ 当地区を整備する目的・意義 当地区においてはこれまでに19,197haの人工林が造成され、森林の蓄積は着実に増加しているもののその多くは保育・間伐の必要が必要な段階にある。森林所有者等の森林整備に対する意欲の低下が懸念される中で、森林の有する公益的機能の高度発揮に対する期待が高まっているところである。 また、当地区には、森林整備を効率的に実施するための基幹的な林道等の路網が十分でなかったことから、適切な森林施業への遅れが目立っていた。 このため、森林の公益的機能の高度発揮を目的として、森林整備が必要な森林への到達時間の短縮、労働力や資材の効率的な移動等により林業労働の軽減及び森林施業コストの低減を図り、適切な森林整備を促進することを目的に林道を整備した。</p> <p>(事業概要)</p> <p>森林基幹道整備</p> <table border="0"> <tr> <td>①足馴線</td> <td>車道幅員</td> <td>4.0m</td> <td>開設延長</td> <td>4,311m</td> <td>利用区域</td> <td>1,652ha</td> </tr> <tr> <td>②丸山線</td> <td>車道幅員</td> <td>4.0m</td> <td>改築延長</td> <td>628m</td> <td>利用区域</td> <td>2,244ha</td> </tr> <tr> <td>③櫛形山線</td> <td>車道幅員</td> <td>4.0m</td> <td>改築延長</td> <td>1,541m</td> <td>利用区域</td> <td>2,679ha</td> </tr> </table> <p>総事業費 1,215,700千円 (当初総事業費 1,245,000千円)</p>	①足馴線	車道幅員	4.0m	開設延長	4,311m	利用区域	1,652ha	②丸山線	車道幅員	4.0m	改築延長	628m	利用区域	2,244ha	③櫛形山線	車道幅員	4.0m	改築延長	1,541m	利用区域	2,679ha
①足馴線	車道幅員	4.0m	開設延長	4,311m	利用区域	1,652ha																
②丸山線	車道幅員	4.0m	改築延長	628m	利用区域	2,244ha																
③櫛形山線	車道幅員	4.0m	改築延長	1,541m	利用区域	2,679ha																

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成25年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 費用対効果分析手法の見直しによる総便益の減少や、森林整備に要する費用を計上したことにより総費用が増加した。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td>2,852,147千円</td> <td>(事業採択時総便益</td> <td>5,193,900千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td>1,868,342千円</td> <td>(事業採択時総費用</td> <td>1,478,285千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>1.53</td> <td>(事業採択時分析結果</td> <td>3.51)</td> </tr> </table>	総便益 (B)	2,852,147千円	(事業採択時総便益	5,193,900千円)	総費用 (C)	1,868,342千円	(事業採択時総費用	1,478,285千円)	分析結果 (B/C)	1.53	(事業採択時分析結果	3.51)
総便益 (B)	2,852,147千円	(事業採択時総便益	5,193,900千円)										
総費用 (C)	1,868,342千円	(事業採択時総費用	1,478,285千円)										
分析結果 (B/C)	1.53	(事業採択時分析結果	3.51)										

② 事業効果の発現状況	<p>① 林道開設により、効率的な森林整備が可能となる路網から200m以内の森林面積が172ha増加し、施業地までの到達時間の短縮及び作業コストの低減が図られた。(足馴線)</p> <p>② 林道改築により、崩落土砂や落石の除去など維持管理費用の軽減と通行車両の安全性の向上が図られ、櫛形山周辺を訪れる人々が年々増え、平成24年度には年間17万6千人となっている。(丸山線、櫛形山線)</p> <p>③ 平成23年の台風12号、15号災害により県道南アルプス公園線が被災し、通行止に際して迂回路として機能した。(丸山線、櫛形山線)</p>
-------------	---

③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>当事業により開設された林道は、県及び各市が定めた林道維持管理要綱に基づき適切に管理されている。 また、側溝清掃や草刈等の作業を毎年実施しており、維持管理は良好である。</p>
---------------------	--

④ 事業実施による環境の変化	<p>当事業により整備された林道の利用区域内の森林は、間伐を主体とした森林整備が効果的に実施されており、健全な森林が育成されている。</p> <p>また林道整備による野生動植物の生息・生育環境の悪化、溪流の流量の減少等についても影響は見られない。</p>
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>林道が整備され、林業労働の軽減や高性能林業機械の導入が可能となり、利用区域内の森林の整備が進み、間伐材の搬出等木材生産活動も活発になってきている。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林整備を効率的に行うための基盤整備がなされ、森林所有者の林業に対する意識向上が見られ、林道沿線から優先して積極的に作業が行われている。今後は作業道等の整備を精力的に進めて行くことが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の意見： 林道が整備されたことにより、森林へのアクセスが改善されたため、適切な森林整備が実施され、水源の涵養や山地災害防止等の公益的機能が増進されるとともに木材の安定供給および観光客の利便性の向上に寄与している。（山梨県） 林道の改築により、崩落や落石の危険性が抑えられ、林道の走行性も高もったことから楡形山や奈良田温泉へ向かう観光客の増加が見込まれたので、今後とも引き続き維持管理をお願いしたい。 (南アルプス市、富士川町、早川町)
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 森林整備の基盤となる路網の整備が総合的に実施されていること。楡形山や奈良田温泉等の観光地へのアクセスが容易になったことで観光客が増加したこと。以上のことから、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 林道の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で実施しており、事業実施に当たってもコスト縮減に努め総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 林道整備により、森林へのアクセスが容易になり、森林整備を実施するコストも縮減されることから、今後も事業効果の発現が見込まれていること。林道が災害時の迂回路としても機能していること。森林整備により、森林の景観が向上してきていること。以上のことから、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

事業名：森林居住環境整備事業

都道府県名：山梨県

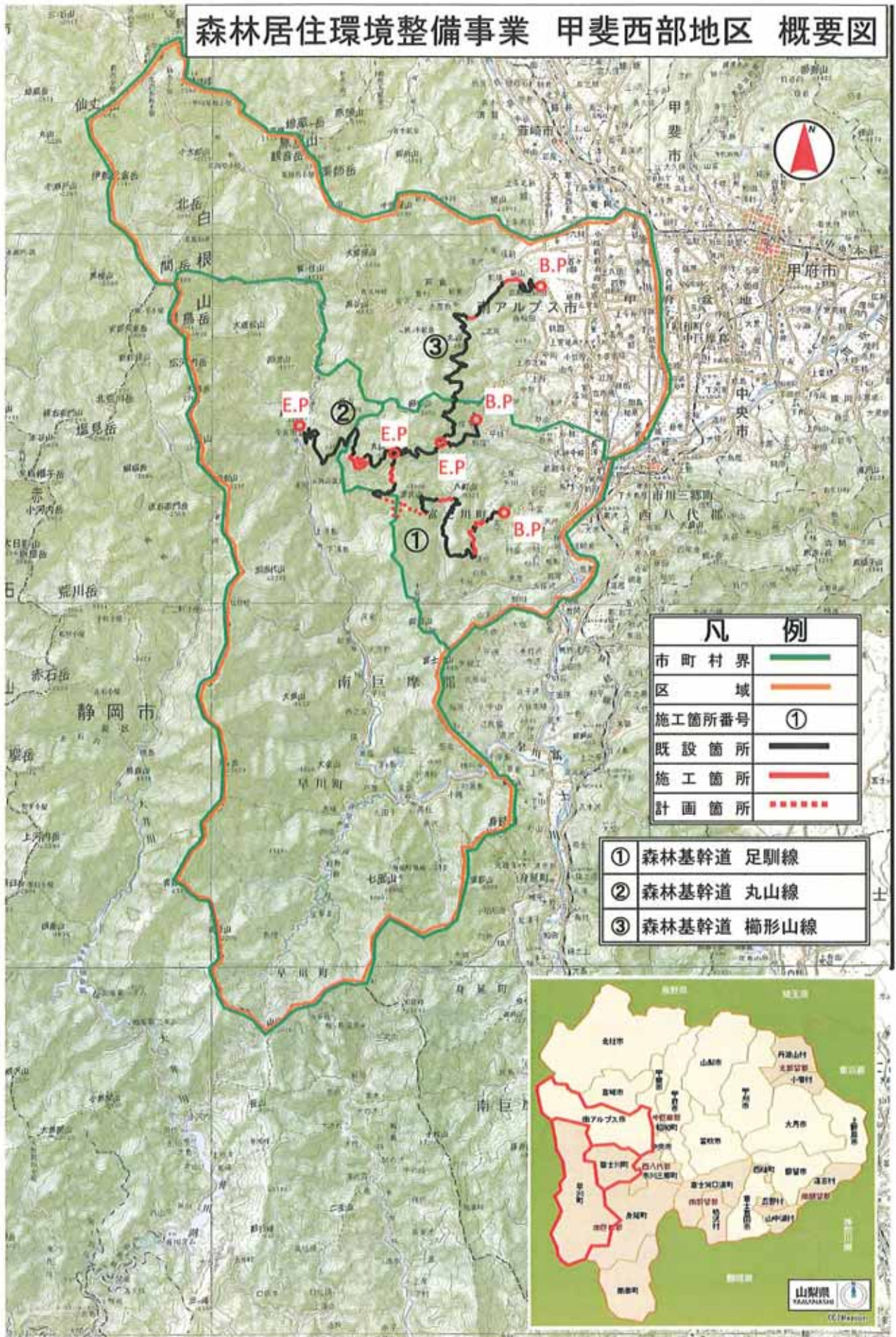
地域(地区)名：甲斐西部^{かいせいぶ}

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	70,600	
	木材利用増進便益	71,964	
	木材生産確保・増進便益	257,067	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	1,214	
	治山経費縮減便益	754,745	
	森林管理等経費縮減便益	5,156	
	森林整備促進便益	795,667	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	895,421	
維持管理費縮減便益		313	
総 便 益 (B)		2,852,147	
総 費 用 (C)		1,868,342	
費用便益比	$B \div C = \frac{2,852,147}{1,868,342} = 1.53$		

(注)便益額算定方法は、代表路線を表示しています。

森林居住環境整備事業 甲斐西部地区 概要図



凡 例	
市 町 村 界	— (Green line)
区 域	— (Orange line)
施工箇所番号	①
既設箇所	— (Black line)
施工箇所	— (Red line)
計画箇所	— (Dotted red line)

- ① 森林基幹道 足馴線
- ② 森林基幹道 丸山線
- ③ 森林基幹道 櫛形山線

